

# 2024 年上半期の米国 VC 投資動向

NVCA の Venture Monitor (Q2 2024) に基づき、米国 2024 年上半期 (1~6 月) の投資動向を概観する。

## (総括)

米国 VC 業界は、2021 年にブームの最高潮を迎えたあと、2022 年~2023 年と大きく後退したものの、2024 年上半期は、VC 投資と Exit にやや回復の兆しがみられた。ただ、ドライパウダーが依然として高水準にあることから、ファンド組成は低調なままであった。

## 1. VC 投資

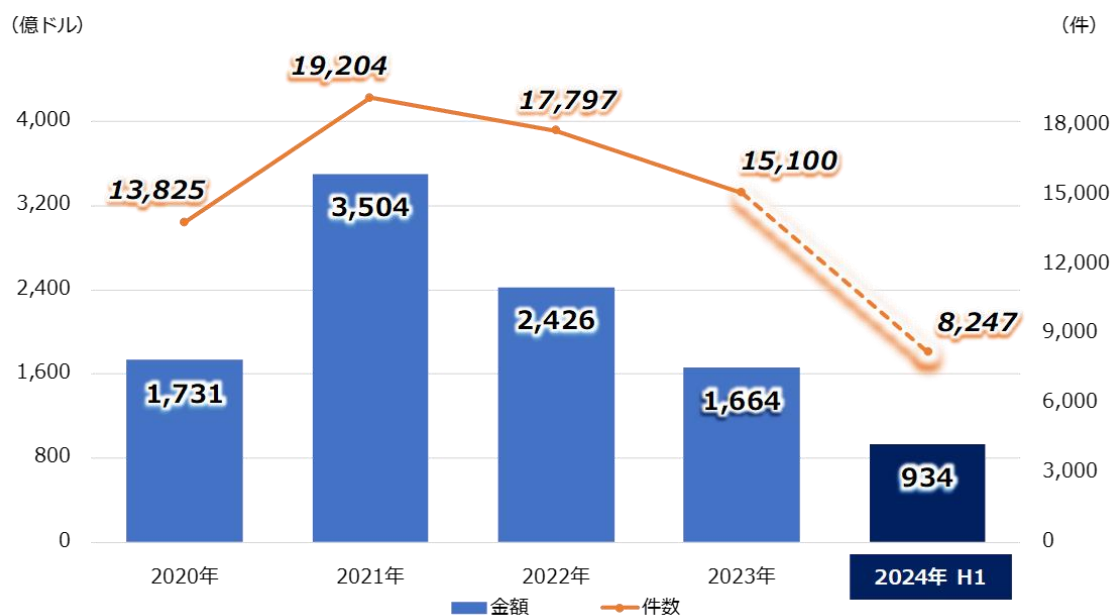
### (1) 投資金額・投資件数：2022 年~2023 年の低調からは、やや回復の兆し

2024 年上半期の米国の VC 投資は 8,247 件で 934 億ドルと、2021 年から 2023 年まで続いた減少傾向もようやく底を打った感がある。

投資金額についてみると、2024 年上半期 (6 か月間) の 934 億ドルは、2023 年の通年実績 1,664 億ドルに対して 56.1%と、ラップの 50%を上回っている。

同様に、投資件数についても、2024 年上半期の 8,247 件は、2023 年の通年実績 15,100 件に対して 54.6%と、ラップを上回っている (図表 1)。

図表 1 VC 投資の推移 (金額・件数)



(出所 : NVCA, Venture Monitor Q2 2024、VEC 作成)

## (2) ステージ別投資金額：バラつきはあるものの各ステージとも、ほぼ前年のラップを記録

2024年上半期の米国VC投資金額をステージ別にみると、「プレシード/シード<sup>(注1)</sup>」「アーリー」「レイター」「ベンチャーグロス<sup>(注2)</sup>」の各ステージとも、2023年の通年実績対比、ほぼ前年並みのラップを維持している（図表2）。

(注1) Venture Monitor では、2023年Q3に、従来の「エンジェルシード」を「プレシード/シード」に呼称変更。設立2年未満で初回投資のベンチャー企業を「プレシード」と定義

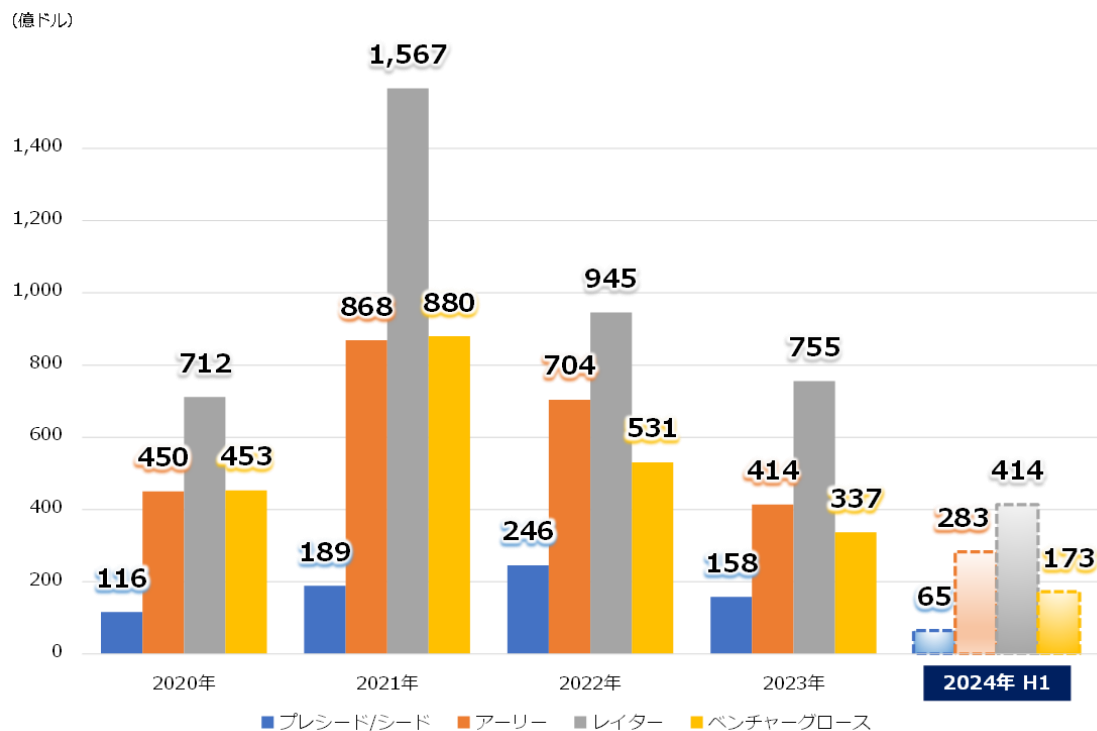
(注2) Venture Monitor では、2024年Q4に、「ベンチャーグロス（シリーズE以降のベンチャー企業）」を新たなステージとして追加

特に「アーリー」の2024年上半期（6か月間）の投資金額283億ドルは、2023年通年の414億ドル対比で68.4%に達している。

「レイター」をみると、2024年上半期の投資金額414億ドルは、2023年通年の755億ドルの54.8%、また「ベンチャーグロス」についても、2024年上半期の投資金額173億ドルは、2023年通年の337億ドルの51.3%と、いずれも前年のラップを維持している。

ただ「プレシード/シード」については、2024年上半期の投資金額65億ドルは、2023年通年の158億ドルに対して、41.1%と、前年対比で50%のラップを下回っている。

### 図表2 ステージ別投資金額の推移



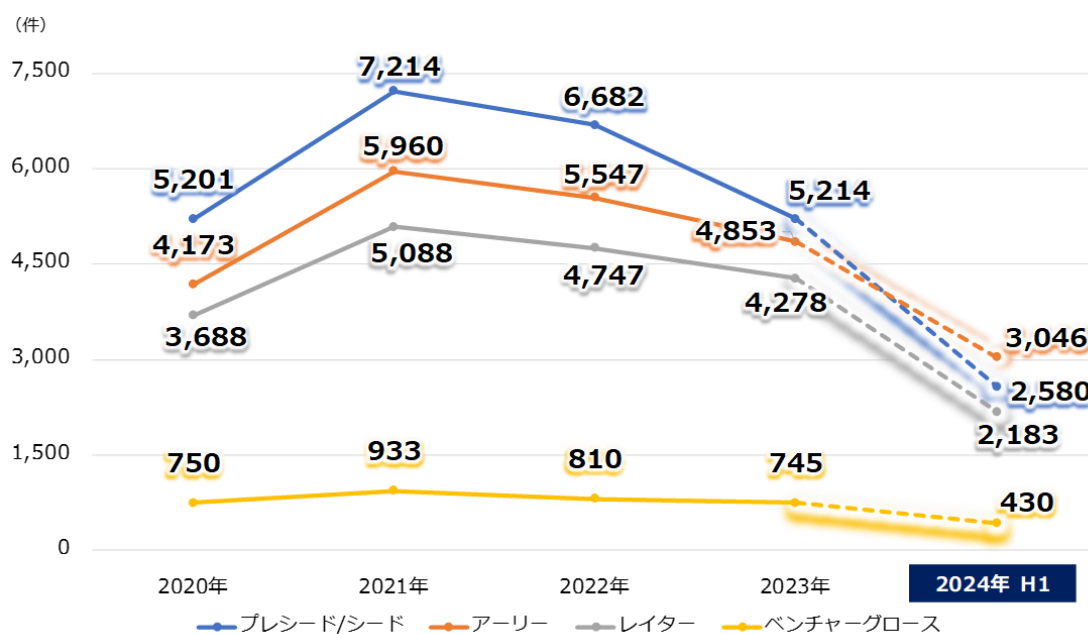
(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2024、VEC 作成)

ステージ別投資件数についても、上記のステージ別投資金額と同様に、「アーリー」の2024年上半期（6か月間）の投資件数3,046件は、2023年通年の4,853件との対比で62.8%に達している（図表3）。

「レイター」の2024年上半期の投資件数2,183件は、2023年通年の4,278件の51.0%、「ベンチャーグロス」についても、2024年上半期の投資件数430件は、2023年通年の745件の57.7%と、いずれも前年のラップを維持している。

一方、「プレシード/シード」の2024年上半期の投資件数2,580件は、2023年通年の5,214件に対して49.5%であったものの、ほぼ前年対比で50%のラップと言えよう。

図表3 ステージ別投資件数の推移



（出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2024、VEC作成）

## 2. VCファンド組成：組成額・組成本数ともに低調

2024年上半期（6か月間）のファンド組成は255本で374億ドルと、本数・組成額ともに、きわめて低調であった（図表4）。

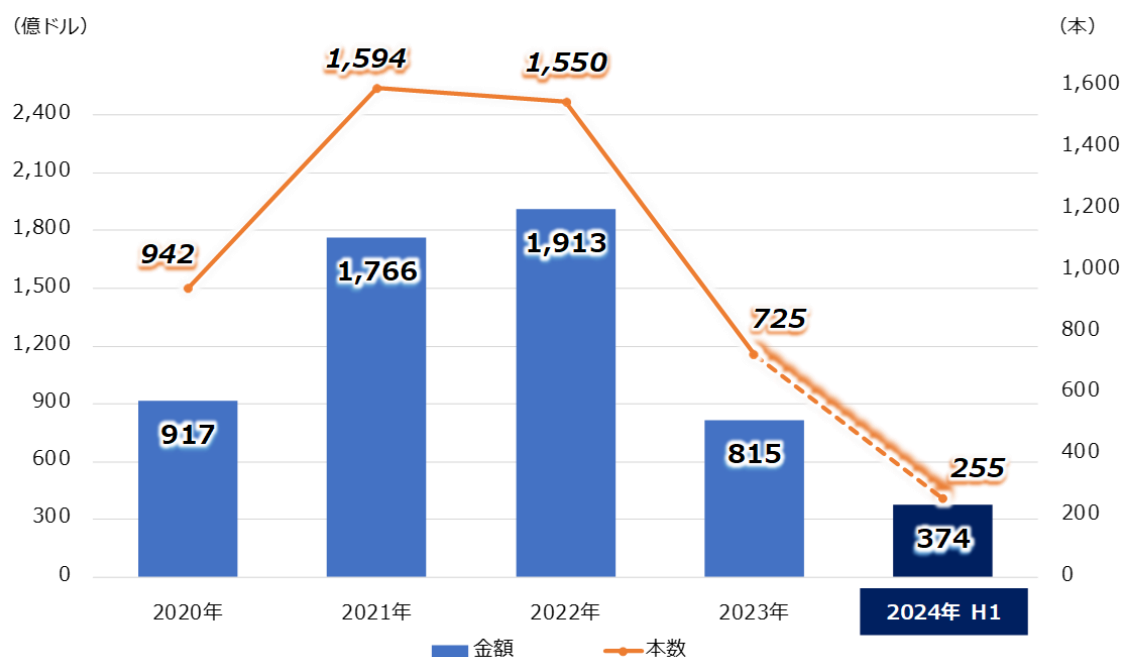
2024年上半期のファンド組成額374億ドルは、2023年通年の815億ドルに対して45.9%と50%を下回っており、既往最高を記録した2022年通年の1,913億ドル対比ではわずか19.6%にすぎず、さらにブーム前の2020年の通年917億ドルに対しても40.8%にとどまっている。

同様に、2024年上半期のファンド組成本数の255本は、2023年通年の725本に対して35.2%、2022年通年の1,550本に対して16.5%、2021年通年の1,594本に対して16.0%、2020年通年の942本に対しても27.1%と、いずれもラップの50%を大きく下回っている。

この要因として、Venture Monitorは、次の2点をあげている。

- (1) 直近時点で2,962ドルに達している膨大なドライパウダーの存在が新たなファンド組成への動きを鈍らせている。
- (2) 現在5.25%から5.50%の間で変動しているフェデラルファンド金利は、ここ数十年で最も高い水準にあり、すぐには下がらないと予想されていることから、VCファンドへの出資に対するLPの関心が低下している。

図表4 VCファンド組成の推移（金額・本数）



（出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2024、VEC作成）

### 3. Exit : 2014 年以降のボトムを記録した 2023 年対比では、若干の回復

2024 上半期（6 か月間）の VC 出資先企業の Exit 価額<sup>(注3)</sup> は 490 億ドルと、既往ピークを記録した 2021 年通年の 7,107 億ドルに対してわずか 6.9%にとどまっている。ただ、2014 年以降で最低の水準にあった 2023 年の 653 億ドルとの比較では、75.0%の水準に達しており、ラップの 50%を上回るところまで回復している。

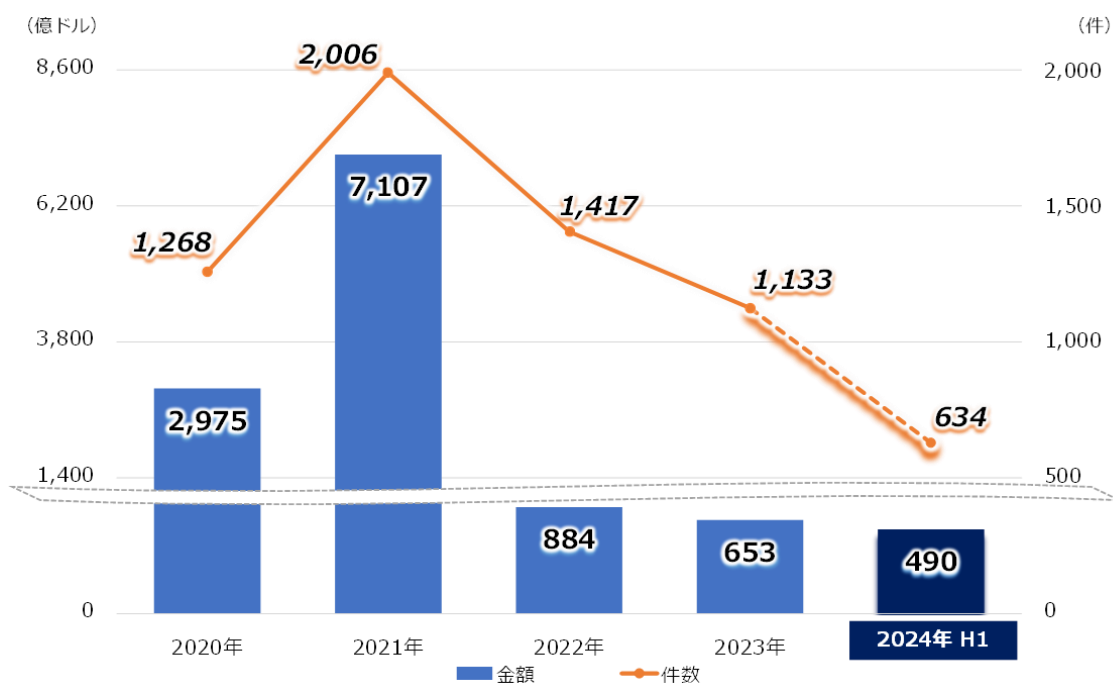
(注3) Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開（IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む）時のプレマネーバリュエーション額（株式公開前の段階での企業価値）、及び②買収金額が開示された M&A 金額の合計

一方、VC 出資先企業の Exit 件数の 634 件は、既往ピークを記録した 2021 年通年の 2,006 件の 31.6%にすぎないが、前年実績の 1,133 件に対しては 56.0%に達しており、Exit 金額と同様に、前年ラップの 50%を上回っている（図表 5）。

ただし、Venture Monitor では、以下のように、Exit の状況をそれほど楽観視はしていない。

- (1) VC 出資先企業にとって株式公開市場は依然としてハードルが高い。2024 年上半期で株式公開を果たした企業はわずか 37 社で、このペースは過去 2 年よりも遅くなっている。
- (2) 2024 年上半期の VC 出資先企業の Exit 価額（490 億ドル）のうち、M&A により 194 億ドルが創出され、2023 年を上回ったものの、M&A の Exit 価額としては過去 10 年で 2 番目に低い年であった。IPO の不振が注目されることが多いが、M&A の不振も VC マーケットに悪影響を与えることが懸念される。

図表 5 Exit の推移



(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2024、VEC 作成)

以 上